

沖縄県立学校実習助手及び寄宿舍指導員選考試験実施要項

沖縄県教育委員会

<主なスケジュール>

◇願書受付期間	：令和8年7月15日（水）～8月14日（金）	※郵送のみ	8/14 消印有効
◇電子申請入力期間	・・・令和8年7月13日（月）～8月14日（金）15時		
○第1次選考試験日	：令和8年10月3日（土）	・第1次合格発表	：令和8年10月下旬予定
○第2次選考試験日	：令和8年11月14日（土）	・最終合格発表	：令和8年12月中旬予定

1 目的

この試験は、令和9年度における沖縄県立学校実習助手及び寄宿舍指導員の採用に当たり、選考の資料とするために実施する。

2 選考で重視する視点

次の「実習助手及び寄宿舍指導員として求める人物像」に合致する者を選考する。

- 人間性豊かで、児童生徒への教育的愛情と使命感のある者
- 幅広い教養と専門的知識・技能を有し、常に学び続ける実践的指導力のある者
- 沖縄県の自然、歴史及び文化に誇りを持ち、多様性を受容し、グローバルな視点を兼ね備えた者
- 豊かなコミュニケーション能力を有し、組織力を活用できる総合的な人間力を持った者
- 児童生徒の望ましい学習・生活環境を整えるために、教職員と連携して教育活動の充実に努めることができる者

3 選考採用職種（教科）及び採用予定者数

職 種	職務内容	教科等	採用予定者数
実 習 助 手	高等学校及び特別支援学校高等部において、実験又は実習について、教諭の職務を助ける。	普通教科 (理科・家庭科等)	1名程度
		農 業	2名程度
		工 業	2名程度
寄 宿 舎 指 導 員	特別支援学校の寄宿舍において、児童生徒の日常生活上の世話及び生活指導（入浴、排せつ等含む）に従事する。勤務は原則3交代である。	男 子	1名程度
		女 子	2名程度

注1) 受験申込みは、上記のうち一職種及び一教科に限る。

注2) 採用予定者数は現時点での予定者数であり、今後変更になることがある。

4 受験資格

次の(1)～(4)すべてに当てはまる者とする。

- (1) 実習助手（普通教科）・寄宿舍指導員・・・平成3年4月2日以降に出生した者
実習助手（農業）・実習助手（工業）・・・昭和56年4月2日以降に出生した者
- (2) 地方公務員法（昭和25年法律第261号）第16条の各号のいずれにも該当しない者
- (3) 令和8年12月25日施行の学校設置者等及び民間教育保育等事業者による児童対象性暴力等の防止等のための措置に関する法律（令和6年法律第69号）に定める特定性犯罪の前科がない者
- (4) 受験する職種について、次の要件を満たす者

職種	教 科	受験資格
実習助手	普通教科	高校卒業（卒業見込みを含む。）以上の学歴を有する者
	農 業	
	工 業	
寄 宿 舎 指 導 員		短期大学卒業（卒業見込みを含む。）相当以上の学歴を有する者 ※高等専門学校、沖縄県立農業大学校本科、沖縄県立沖縄水産高等学校専攻科、沖縄職業能力開発大学校等を卒業した者及び専門士の称号を有している者を短期大学卒業相当とみなす。

注) 日本国籍を有しない場合、「永住者」等活動に制限のない在留資格を有する者とする。

<地方公務員法(抜粋)>

第十六条 次の各号のいずれかに該当する者は、条例で定める場合を除くほか、職員となり、又は競争試験若しくは選考を受けることができない。

- 一 拘禁刑以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの者
- 二 当該地方公共団体において懲戒免職の処分を受け、当該処分の日から2年を経過しない者
- 三 人事委員会又は公平委員会の委員の職にあって、第六十条から第六十三条までに規定する罪を犯し刑に処せられた者
- 四 日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者

5 出願手続き

(1) 出願書類の作成：願書は郵送による提出となるので注意すること。

出願書類は、次の①または②で作成すること。ただし、原則として①で作成すること。

①【電子申請+願書郵送】(インターネット上で必要事項を入力し、願書を印刷して郵送する方法。)

入力期間	令和8年7月13日(月)～8月14日(金)15時00分
必要な環境	ア インターネットに接続できるPC等の端末 イ プリンター ウ A4用紙(通常のコピー用紙。色つきの用紙やケント紙等の厚紙は使用不可) エ メールアドレス ※「～@pref.okinawa.lg.jp」からのメールを受信できるように設定しておくこと。
方法	ア 電子申請システム利用者IDの取得・基本情報の入力・必要書類の印刷 イ 電子申請終了後の各作業(写真データの配置・印刷、本人の署名欄等への手書き、切手の貼付等) ※詳細は、「受験願書等作成要領」を参照すること。 ウ 書類の提出 「(2)出願書類の提出」に従って、書類を提出すること。

②【手書き申請+願書郵送】(郵送で必要な書類を請求し、手書きで願書を作成し郵送する方法)

請求期間	令和8年7月3日(金)～7月31日(金)必着
方法	ア 出願に必要な書類の請求 ・次のあて先に、返信用封筒として書類の送付先の住所・氏名(敬称は「様」とする)を記入して270円切手を貼付した角形2号封筒(縦33.2cm、横24cm)を送付すること。請求する封筒の表面に「実習助手及び寄宿舍指導員試験願書請求」と朱書きすること。 【請求宛先】〒902-8501 沖縄県那覇市寄宮1-2-16(旧県立図書館) 沖縄県教育庁学校人事課 【注意事項】 ・書類は令和8年7月13日(月)以降、順次返送する。 ・往復の郵送に要する日数を考慮し、余裕を持って請求すること。 ・返信用封筒は折り曲げてよい。 ・返信に速達を希望する者は、封筒上部に「速達」と朱書きし、570円分の切手を貼付すること。 ・教育庁学校人事課、各教育事務所等での配布は行わない。 イ 書類の記入等 出願に必要な書類の記入や写真・切手の貼付等の作業を行うこと。 ※詳細は、出願書類に同封する「受験願書等作成要領」を参照すること。 ウ 書類の提出 「(2)出願書類の提出」に従って、書類を提出すること。

※受験上の配慮を希望する者は、事前に教育庁学校人事課(電話:098-866-2730、FAX:098-866-2724)へ相談すること。ただし、内容によっては希望に添えない場合もある。

(2) 出願書類の提出（郵送のみ）

受付期間	令和8年7月15日（水）～ 8月14日（金）※当日消印有効 ただし、受付最終日に郵送する場合は、「簡易書留」の「速達」で送ること。
提出書類	ア 受験願書（No1、No2）※写真データを配置してカラー印刷。又は写真を貼付。 ※No1とNo2の左上を貼り合わせること。 イ 受験票 ※郵便はがきに所定の様式を表裏とも貼付。85円分の切手も貼付する。 ウ 写真票 ※写真データを配置してカラー印刷。又は写真を貼付。 エ 加點申請書（申請者のみ） ※免許資格等の証明書類の写しも添付。 オ 得点・順位通知用封筒（希望者のみ） ※詳細は「受験願書等作成要領」を参照すること。
注意事項	ア 角形2号封筒に「出願書類提出様式」をはがれないように貼付し、出願に必要な書類をすべて入れて送付すること。 イ 「特定記録」及び「簡易書留」は、郵便局の窓口でのみ引き受けており、ポストに投函することはできないので注意すること。 ウ 出願最終日に郵送する場合には、「簡易書留」の「速達」で送ること。 エ 書類到着の間合せ等には応じない。各自で追跡サービス等を利用すること。

(3) 受験票の発送

提出された書類について受験資格等を審査し、不備がなければ令和8年9月上旬をめどに受験票に受験番号を付して返送する。受験票の発送をもって受験願書受理通知とする。

6 第1次試験

(1) 試験日時及び会場

試験日時	令和8年10月3日（土） 8:40～11:20			
試験会場	沖縄県立真和志高等学校（住所：那覇市真地248）			
時 間	8:00～	8:40～9:00	9:00～10:00	10:20～11:20
内 容	会場入室可	諸注意	専門試験	教養試験
所要時間	—	20分	60分	60分

※試験時間及び試験会場については、出願状況によって変更する場合がある。

(2) 試験内容

試験名	内 容	
教養試験 (80点)	実習助手及び寄宿舍指導員としての一般的な知識等を有しているかどうかを判断するために、自然科学、社会科学、人文科学、基本的な教育法規等について筆記試験を行う。	
専門試験 (150点)	選考対象の職種・教科に必要な専門的知識、能力等について筆記試験を行う。	
	実習助手	普通教科 理科及び家庭科全般について
		農 業 農業全般について
		工 業 工業全般について
寄宿舍指導員	寄宿舍指導員の職務全般について	

(3) 第1次試験における加点

実習助手、寄宿舎指導員の職務に資する免許資格を有する者を対象に、教養試験及び専門試験の合計点に30点を上限として加点する。加点を希望する場合は「加点申請書」（別紙様式4）及び免許資格を有していることを証明する書類の写しを出願時に提出すること。

◎加点となる資格等

以下の免許資格の他、これらと同等以上であると本県教育委員会が認める専門分野の免許資格

農 業	食鳥処理衛生管理者、食品衛生管理者、測量士・測量士補 車両系建設機械技能講習、日本農業技術検定（2級） 一般毒物劇物取扱者試験、危険物取扱者甲種、農業機械士、 大型特殊運転免許、2級ボイラー技士
工 業	技能士（2級）、第1種電気工事士、測量士・測量士補、危険物取扱者甲種 2級建築士
寄宿舎指導員	介護福祉士、看護師、保育士、精神保健福祉士、言語聴覚士、作業療法士 視能訓練士、理学療法士、保健師、訪問介護員、社会福祉主事任用資格

(4) 第1次試験の結果通知

令和8年10月下旬に、沖縄県教育委員会ホームページに第1次試験合格者の受験番号を掲載し、合格者には第1次試験合格者通知を送付する。なお、可否に関する問合せには応じない。

第1次試験の得点・順位通知は、結果発表後、希望者に対して発送する。

7 第2次試験（第1次試験合格者に対して行う）

(1) 試験日時及び会場

日 時	令和8年11月14日（土） ※集合時刻については、第1次試験合格通知にて案内する。
試験会場	沖縄県立総合教育センター（住所：沖縄市与儀3-11-1）
内 容	面接試験
所要時間	一人あたり25分程度

(2) 試験内容

試験名	内 容
面接試験	職務遂行に必要な適性について個人面接を行う。

(3) 第2次試験（最終）の結果通知

令和8年12月中旬に、沖縄県教育委員会ホームページに第2次試験（最終）合格者の受験番号を掲載し、合格者には第2次試験合格者通知を送付する。なお、可否に関する問合せには応じない。

第2次試験の得点・順位通知は、結果発表後、希望者に対して送付する。

8 候補者名簿への登載及び採用

(1) 最終合格者は、沖縄県立学校実習助手及び寄宿舎指導員採用候補者名簿に登載され、原則として令和9年4月に採用する。

(2) 最終合格者の数は、年間の欠員見込み数に採用を辞退する者等の数を考慮して決定するため、合格しても採用にならないことがある。

(3) 沖縄県立学校実習助手及び寄宿舎指導員採用候補者名簿の有効期間は、名簿登載確定日から1年間とする。

9 注意事項

(1) 出願等について

- ア 提出書類は、一切返却しない。
- イ 提出書類等は、記入要領を熟読の上、正確に入力・記入すること。
- ウ 受験願書の提出後は、受験職種・教科等の変更その他一切の内容変更・修正は受け付けない。また、願書の再度提出も受け付けない。
- エ 提出書類に虚偽又は不正の事実があった場合は受験を認めない。また、後日発覚した場合には合格であっても合格及び採用を取り消す。
- オ 令和9年3月31日までに必要な受験資格を取得できない場合は、合格を取り消す。

(2) 試験について

- ア 試験実施期間中における受験者及び試験係員以外の者の許可なき会場立入を固く禁ずる。
- イ 試験全体を通じて、特別の許可がある場合を除き、試験会場内への車の乗り入れ、送迎のための会場内での車の乗り入れは禁止する。周辺での乗り降りについても、近隣の迷惑にならないよう注意すること。
- ウ 試験会場周辺への路上駐車、近隣施設への無断・迷惑駐車を禁ずる。特に、試験終了時に迎える車を近くで待機させることは、近隣の迷惑になるので固く禁ずる。
- エ 筆記試験の持ち物は、次のとおりとする。

受験票、黒鉛筆（HB又はB）、消しゴム

上記のほかに、試験時間中に机の上に置いてよいもの

- ・シャープペンシル ・鉛筆削り（手動、小型のもの。ナイフ不可） ・眼鏡 ・目薬
- ・タオル（ハンカチ） ・ティッシュペーパー（携帯用のもの）
- ・時計（小型のものに限る。秒針音等が出るものや、スマートウォッチなどの情報端末の機能があるもの、それらの機能の有無が判別しづらいものは不可。）

- オ 試験当日、会場内ではスマートフォンをはじめ全ての情報端末の電源を切ること。また、会場内で録音・録画・撮影・通信・通話等が可能な電子機器を使用することを禁ずる。
- カ 試験会場内及びその周辺はすべて禁煙とする。
- キ 試験会場で出たゴミは持ち帰ること。
- ク 試験中のけが等について、会場では応急処置のみを行うので、万一の事態に備えるほか、必要に応じて保険に加入するなどの準備を行うこと。
- ケ 受験すべき試験等を欠席した場合、その時点で原則辞退として取り扱う。

(3) その他

- ア 実施要項に関する事、電子申請に関する事、その他試験に関する問合せは、受験する本人が直接行うこと。ただし、実施前の試験内容に関する事及び合否に関する事についての問合せには一切応じない。
- イ すべての合否判定において、試験科目のうち著しく低い点数の科目のある者は、その他の科目の点数にかかわらず不合格とすることがある。
- ウ 試験に際し、配慮が必要なことがある場合は、事前に申し出ること。ただし、内容によっては、試験の実施上配慮できない場合もある。
- エ 不合格者への結果通知は行わないので、各自で沖縄県教育委員会ホームページを確認すること。

10 暴風雨時等の対応

暴風雨時の試験実施については、原則として次のとおりとする。

- (1) 暴風警報等発令中でも、当日の朝、バスが始発から運行している場合は、試験を実施する。
- (2) 試験開始後、バスが運行停止になった場合、別途指示する。
- (3) 暴風警報等が発令され、バスが始発から運行停止になった場合、その日の試験は行わず延期する。
 - 第1次試験を予定している令和8年10月3日(土)に試験を行わなかった場合、令和8年10月10日(土)に日程を変更する。
 - 第2次試験を予定している令和8年11月14日(土)に試験を行わなかった場合、令和8年11月21日(土)に日程を変更する。

なお、試験前や試験当日の実施に変更が生じる場合は、沖縄県教育委員会の Web サイトに掲載するので、各自参照すること。

(「沖縄県教育委員会」>「教職員採用等」>「その他の教職員の選考試験等」>「沖縄県立学校実習助手及び寄宿舍指導員選考試験」>「令和8年度実施沖縄県立学校実習助手及び寄宿舍指導員選考試験」

URL <http://www.pref.okinawa.jp/kyoiku/edu/1008490/1008535/1008610/1008625/1039842.html>)

台風以外の災害発生時や、伝染病の防疫による場合も同様とする。電話での問い合わせは事務に支障が生じるため受け付けない。

11 勤務条件等

(1) 給料諸手当

令和8年4月1日現在の初任給は、大学卒 255,100 円、短大卒 235,400 円、高校卒 212,900 円で、経歴その他に応じてこの額以上となる。他に扶養手当、住居手当、通勤手当、期末・勤勉手当等が支給条件に応じて支給される。

(2) 主な勤務条件

勤務時間は、原則として週 38 時間 45 分である。勤務時間の割り振りは、勤務校により定められる。休暇等は原則として土曜日・日曜日・国民の祝日、慰霊の日(6月23日)、年末年始(12月29日～1月3日)である。年次休暇が年 20 日(初年度は 15 日)付与されるほか、産前産後休暇、育児休暇、育児休業、慶弔休暇、夏季休暇、介護休暇等がある。

(3) 勤務場所

沖縄県内すべての沖縄県立学校(離島を含む)。

<参考資料> 令和7年度実施 選考試験結果

職 種	志願者数	合格者数
実習助手	70 名	8 名
寄宿舍指導員	23 名	3 名
合 計	93 名	11 名

12 本試験に関するお問い合わせ

沖縄県教育庁学校人事課

〒902-8501 沖縄県那覇市寄宮 1-2-16(旧県立図書館)

TEL 098-866-2730 FAX 098-866-2724

※お問い合わせは、沖縄県教育委員会ホームページ「お問い合わせフォーム」からお願いします。

<http://www.pref.okinawa.jp/kyoiku/edu/1008490/1008535/1008610/1008625/1039842.html>

(「沖縄県教育委員会」>「教職員採用等」>「その他の教職員の選考試験等」>「沖縄県立学校実習助手及び寄宿舍指導員選考試験」>「令和8年度実施沖縄県立学校実習助手及び寄宿舍指導員選考試験」>「お問い合わせフォーム」)